



共生セミナーin富山！

〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町1-2-5
電話 045-881-0348 FAX 045-392-6043
E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp
発行責任 善了寺 還る家とともに 11月担当：吉田



10月19、20日に富山県の国際会議場で行われた「地域共生ホーム全国セミナーinとやま」に行ってきました。共生型とは、お年寄り、子供たち、赤ちゃん、障害があってもなくてもいろんな人達が一緒の場所で過ごすという富山発祥の福祉サービスです。平成5年に富山赤十字病院で看護師をしていた惣万佳代子さん、西村和美さん、梅原けい子さんの3人が、高齢者、子ども、障害者が一つ屋根の下で目配りの利いた福祉サービスを行いたいという思いで「このゆびと一まれ」を創設され、共生型のさきがけ的存在となっています。今回は、「このゆびと一まれ」創設20周年のお祝いも兼ね、全国から参加者がたくさん集まりました。

私は2年前からこのセミナーに参加させていただき、全国で広まりつつある共生型の取り組みに初めてふれました。「このゆびと一まれ」と「にぎやか」の2施設にもそれぞれお邪魔して、なにより「よそもの自分が居ても居心地がいい」ということを感じました。やさしいイントネーションの富山弁と、どんな人でも受け入れている土壌が生み出す、「ほっとできる、ゆるさされている感覚」がありました。今回も、参加者の皆さんとお話し、北海道、沖縄、宮崎、滋賀、石川、新潟、愛知、徳島、それぞれで働く現場の話がたくさん聞く事ができました。



富山城♪

「このゆびと一まれ」にお邪魔しました。

セミナーに先だつて、このゆびと一まれに一日お邪魔しました。私が訪ねた日には、障害をもつ娘さんと、認知症のあるお母さん両方が来られていました。夕方、帰る準備ができるとお母さんは「娘は？」と後ろを振り返り、「娘さんも一緒ですよ」とスタッフが娘さんの帰り仕度を手伝って、一緒に車で帰っていかれました。どんなに老いても、娘のことを気にかけている母親の姿が印象的でした。もしここがなかったら、今こんな風に一緒に過ごせることもなかったかも、と思うと、尚更このお二人が同じ空間で過ごせる場の尊さを見た気がしました。特別なおもてなしはなくても、なんでもない日常をスタッフ皆で守っている、そんな「居心地の良さ」もとってもいいなと思いました。



「ふらっと」にもお邪魔しました。

共生セミナーの翌日、福祉の現場体験ツアーがありました。4か所まわりましたが、実は一番楽しみにしていたのが、最後に寄った地域生活支援・交流ハウス「ふらっと」。一般的な共生型がお年寄りが多くて障がいを持つ人の利用が少数派であるのに対し、ふらっとは障がいを持つ人の利用が多いという特徴があります。住職、坊守が10年前に訪ね、「いいところだから是非見てきて」とお勧めされていたところです。金髪で、全身カラフルな服を着て豪快に笑う代表の宮袋さんから伺った、開設のいきさつ、障がいを持って生まれてきた人やその家族、社会に対する思いは、綺麗事ではなく、ただ当たり前にかきたいだけだ、という、魂がきうごかされるような熱のある言葉でした。そんな宮袋さんの



むきだしの人柄にとっても魅力を感じ、ワクワクした気持ちになりました。宮袋さんと「ふらっと」のこれまでの色々を綴った、どピンク(!)の新刊、「バリア★ブレイク」も是非多くの方に読んでほしい、ちからのわく一冊です。

♪ スタッフのつづやき ♪

9月25日我が広島東洋カーブは16年ぶりAクラスが決まりました。巷で喜んでいるカーブファンが多いなか自分は喜ばませんでした。やっぱり優勝してないので実感がわかないみたいです。

その2日後、僕にとって衝撃的なニュースが入ってきました。前田智徳選手引退です。広島東洋カーブのAクラスよりも前田選手引退にショックを受けました。いまや広島の前田といえばマエケンですが僕にとっては前田智徳選手なんです。本当の天才といわれた男です。2度のアクシデントを乗り越えて活躍しました。あのイチロー選手や落合GMさんにも言われしめた天才打者といわれた人です。そんな前田選手が大好きです。

信太正彦

★キャンドルナイト「環境、介護、ライフスタイルから脱原発を考える」報告★



辻信一
文化人類学者。
明治学院大学教授。



三好春樹
生活とリハビリ研究所代表。
月刊プリコラージュ編集発行人

10月10日の夜、聞思堂にて上記の集会が行われました。事前予約から想定していたよりもはるかに多くの方々が参加して下さい、聞思堂は満員御礼となりました。抜粋して以下に報告させていただきます。

★3. 11以降、何が変わったのか？そんなに急に政治が悪くなったんだろうか？急に変化したわけではなく、経済主導社会の行き詰まった現状が3. 11によって、より明らかに暴かれただけではないか。しかし、それでもなお、大多数の人々は破綻に目を向けず、かろうじて続いているつかの間の平和を楽しもうとしている。生物多様性に目を向けず、生命操作研究を称賛する風潮、オリンピック開催を手放して歓迎するムード。この世界はあいもかわらず無限の経済成長を目指し、「自分だけは死ななかつもり」で生きている。

★3. 11は根底から僕らの存在を揺るがせた。「よわざ」をキーワードに、色んなひとにあっていこう。北海道浦河にある、精神障害をかかえたひとたちの活動拠点「べてるの家」には、「弱さを絆に」というキーワードがある。そのように、持続可能なコミュニティとは、元来「弱さをまんやかに」置いたものではないか。

★そしてまた「他に居場所がないということこそ、ここに来る良い理由だ」という木更津の宅老所「井戸端げんき」のスタンスはひとつの希望である。制度からこぼれおちた、あるいは経済に乗っかれない若者たち、社会に居場所のない人達が自分たちで居場所を創造していく、そういう時代がきているのではないか。より大きく・速く・複雑化する永遠の右肩あがりから降りて、Slow, Small, Simpleな方向へ。

編集後記

今年も山下トキエさんから、お彼岸に、おはぎを、デイのおじいちゃんおばあちゃんと、スタッフと成田家族の分と大量に、頂きました。毎年、春秋のお彼岸に、朝から一人で手作りしてくれた絶品を、リュックで担いでわざわざ届けてくれます。この味は、舌鼓をうたずにいられません♪♪市販のものと、何かが違うのです。餅米のつぶれた歯ごたえと、あんこの甘さと、繊細さ、黄な粉餅も絶妙の甘さです。ぱくぱくぱくと、子供達も夕食前にたいらげてしまいます。本当に本当に感謝しております。そして、早く、来年の春のお彼岸がまちどおしい

坊

★年末年始の営業のお知らせ★

今年の最終営業日は12/28(土)です。

12/29~1/3はお休みを頂きます。

営業開始は2014年1/4(土)となります。

ボランティアさん

善了寺に関わってくださっている沢山の方々にデイサービスは日々支えられています。いつもあたたかい気持ちと笑顔を持ちよって寄り添って下さることにあらためて感謝申し上げます。

中嶋芳江 秦野かねよ 安藤信子 竹中秀子
山下トキエ 西岡美都里 寺島美代 朝倉好子
別府与志子 濱崎芳子 市野和歌子 弓削福子
矢口和子 秦野雅子 飯島慶子 米村正男
小寺久枝 江田峯子 中島雄子 村井ヒテ子
江尻伸子 鳥巢スエ子 牛島寛子 橋本淑子
長澤チヨ子 福寿貴美恵 犬塚照夫 松村節子
秦野宣子 大金スエ子 梅本忠男 小林ミエ
林ヨシ子 松田良子 森谷ミヨシ 山田ヒロ子
増村隆 穴山よしお 乾隆子 磯地正人
内田佐知子 砂川元枝 長岡綾子

敬称略